



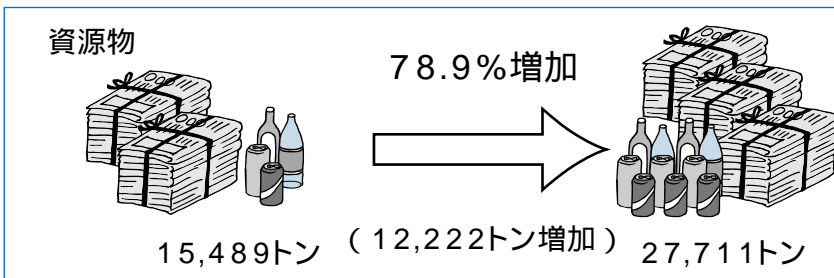
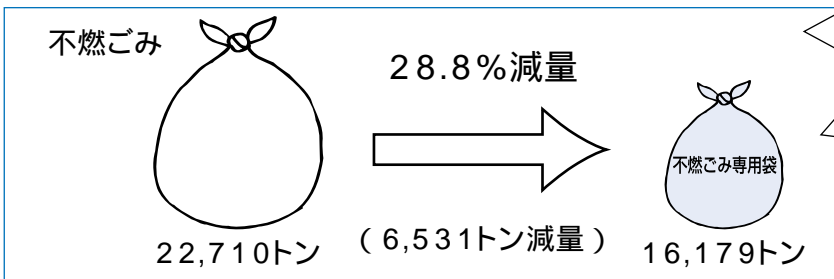
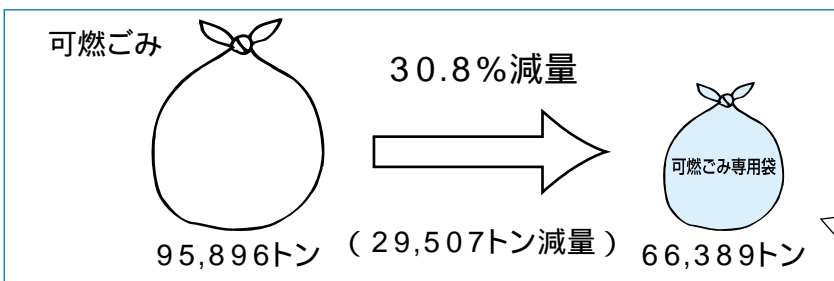
リサイクルタウン八王子

皆様のご協力による成果です!

平成16年10月から平成17年8月までの家庭ごみ収集量

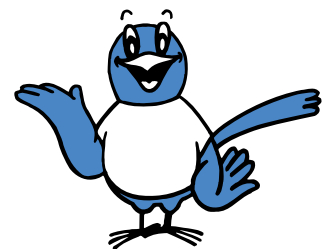
市民の皆様のご協力により、家庭ごみは、有料化実施後の平成16年10月から平成17年8月までの11か月間を前年同期間と比較して、可燃ごみが30.8%(29,507トン)、不燃ごみが28.8%(6,531トン)も減量することができました。

分別して資源としてリサイクルすることと同時に、ごみになりそうな物を家に持ち込まないということが、まず大切です。引き続きごみの減量と分別にご協力をお願いいたします。



可燃ごみ・不燃ごみ
30.4%減量
(36,038トン減量)

これは多摩地区の人口約
18万人の市で1年間に出る可燃ごみと不燃ごみの量とほぼ同じです。



収集量は、平成16年10月から平成17年8月までの11か月間と、前年同期間を比較。

紙

面

皆様のご協力による成果です！	1面
せっかく減ったのに増加の傾向が!!	2面
集積所レポート	3面
皆さんへのお願い	3面
環境にやさしい市役所づくりに向けて	4面
消費アイデア・ごみを減らすアイデア募集	4面
新規指定収集袋取扱店一覧	4面

集積所レポート

～ ごみ減量に関する地域の取り組みを紹介します ～

今回ご紹介する「蓮生寺公園通り三番街団地」は、世帯数が219世帯の大型集合住宅です。こちらの団地の集積所は、ごみと資源物を出す場所が手作りの表示板でコーナーごとに分かれていて、とてもきれいに管理されています。

昨年10月のごみ有料化の際には、集積所での分別指導、掲示物の作成、分別方法や出し方などを掲載した「三番街通信」の発行など、役員の方の熱心な活動により、「住民の皆さんに協力する気持ちが生まれた」とのことです。現在も集積所はきちんと整理され、清潔に維持されています。



現在、環境担当をつとめる山田さんにお話を伺うと、「何よりも最初が肝心です。当時の役員の方の熱心な活動で下地ができていますので、それを崩さないように、今後は掲示物の作成などを行い、美観が維持できるように努めていきたい。」と話されました。

限られたスペースを有効に使うために

缶やペットボトルはつぶせば、かさが半分になります。表示板は絵で表示されており、わかりやすく見えました。また、風などで飛ばされたりした時に事故が起こらないよう、発泡スチロールでできていました。



集団回収でコミュニティづくりに一役

同団地では、古紙、空き缶、古布の集団回収を行っています。売払金は、年末恒例のもちつき大会の資金にしているそうです。こうした活動が地域のコミュニティづくりに一役買うことになるのでは...



皆さんへのお願い

雑草・草花は可燃ごみ専用袋で!

市では緑化推進のため、市民の皆さんの生け垣づくりにかかった費用の一部を補助しています。そこで、樹木の枝・樹木の葉に限り一定量を無料で収集しています。樹木の枝は直径30cm×長さ60cm程度の束を2束まで(1本の太さは直径5cmまで)、樹木の葉は45リットル以下の透明・半透明の袋で2袋まで週の後半の可燃ごみ収集日に出すことができます。雑草、芝、草花は可燃ごみ専用袋でお出してください。



樹木の枝は直径30cm×長さ60m程度に束ねて



樹木の葉は45リットル以下の透明・半透明の袋に入れて

皆さんのご協力のおかげでごみを大幅に減らすことができました。ところが...

せっかく減ったのに増加の傾向が!!

～『面倒臭い』、『私ぐらい』はごみ増加への危険信号～

1面に紹介したように、有料化実施後ごみは大幅に減りました。ところが、残念なことに、ごみ量が徐々に増加傾向に転じています。ごみは毎日の生活の中で、必ず出るものです。『面倒臭い』『私ぐらい』という気持ちがあると、ごみはあっという間に増えてしまいます。

減量の成果を持続し、更なる減量に取り組むことで、限りあるごみの埋立地を一日でも長く使えるようにすることが大切です。一度破壊された環境を取り戻すのは困難です。環境負荷を減らし、お子さんやお孫さんなど次の世代によりよい環境を確実に引き継いでいきましょう。

最近のごみの状況を見ると、可燃ごみに「雑紙(ざつがみ)」が、不燃ごみに「ペットボトル」や「回収対象のプラスチック類」が混じるなど一部に資源物の混入が見受けられます。ここで、次の『減量のポイント』をもう一度確認してください。

《可燃ごみ減量のポイント》～雑紙(ざつがみ)の資源化～

次のものは、雑紙(ざつがみ)として『雑誌・雑紙』の回収日に出してください。



お菓子やティッシュなどの紙箱
名刺の半分より大きく、ビニールコーティングなどの特殊な加工がされていない紙類が資源化の対象となります。



封筒、トイレトーパーの芯



ダイレクトメール

《不燃ごみ減量のポイント》～ボトル容器、発泡スチロール製容器、発泡スチロール製緩衝材の資源化～

次のものは、『プラスチック』の回収日に出してください。



シャンプー・洗剤などのボトル状のプラスチック容器、ペットボトルのキャップ

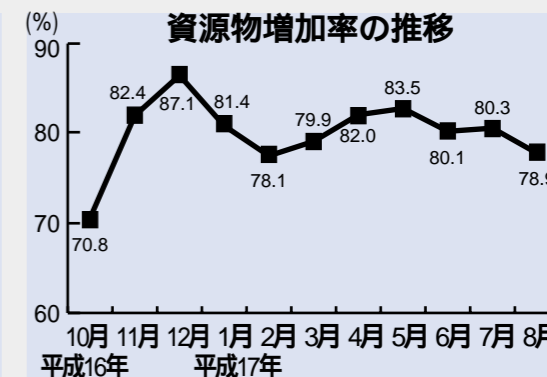
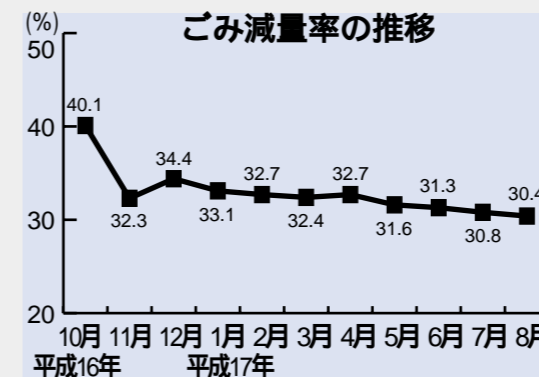


発泡スチロール製のトレイ・カップ
麺の容器



家電製品・果物などを保護している発泡スチロール製の緩衝材

《ごみ減量率と資源物増加率の推移》



環境にやさしい市役所づくりに向けて

市も一事業者として、施策から職員の行動に至るまで、より一層の環境配慮に努めています。これまでの環境保全活動をより積極的にかつ効果的なものにするため、平成17年3月『環境にやさしい 八王子市役所エコアクションプラン』を策定。一例ですが次のような目標を定めました。

	具体的な取り組み	平成21年度の達成目標
買うとき	グリーン調達方針による調達	グリーン調達重点品目の100%購入
使うとき	コピー用紙の使用抑制	コピー用紙の使用量の10%削減
ごみにする前に	ごみを出さない工夫	可燃廃棄物の排出量の30%削減

グリーン調達とは購入の必要性を充分に考え、環境への負荷が少ない製品やサービスを調達することです。

対象となる施設は、市の庁舎、保育園、小・中学校、清掃工場、下水処理場など市の施設となります。ものを「買うとき」、「使うとき」、「ごみにする前に」もう一度無駄がないかなど、職員一人ひとりが行動をチェックし、意識するように徹底していきます。

問い合わせ:環境政策課(20 - 7384)

消費アイデア・ごみを減らすアイデア募集

消費者センターでは、消費アイデア集の発行を企画しています。そこで、市民の皆さんから「消費アイデア」「ごみを減らすアイデア」を募集します。

消費アイデア：日常生活における家庭内でのリサイクル、節約、環境への配慮など、消費生活の知恵としてのアイデア

ごみを減らすアイデア：家庭で工夫・実践しているごみを減らす、ごみにしないなどのアイデア

応募要領：ハガキまたは封書で、アイデアと簡単なコメント(効用や効果、データなど)と住所・氏名・電話番号(連絡先)を書いて11月7日(必着)までに郵送

応募・問い合わせ先：〒192-0053八幡町7-10安藤物産第二ビル4階
八王子市消費者センター(25 - 2155)

新規指定収集袋取扱店一覧 (町名は50音順) [平成17年6月1日～平成17年8月31日]

新規取扱店

町名	店舗名
東浅川町	ウェルシア薬局 八王子東浅川店
堀之内三丁目	業務スーパー 堀之内店
あきる野市	ムラウチホビー 秋川店
相模原市	ホームセンターコーナン 相模原西橋本店
多摩市	(株)カワチ薬品 多摩ニュータウン店
日野市	(株)京王ストア 高幡店

取り扱いをやめました

町名	店舗名
川口町	(株)小川事務機商会
元八王子町二丁目	Yショップ 小峰商店

リサイクルタウン八王子Vol.23 発行:八王子市 発行日:平成17年10月15日

企画・編集:環境部ごみ減量対策課 〒192 8501八王子市元本郷町三丁目24番1号

20・7256 FAX26・4506 環境部ホームページアドレス <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kankyo/>



リサイクル
はちおうじ



古紙配合率100%再生紙を使用しています